

環境共生課

環境共生保全費	109
協働の森づくり事業費	110
オフセット・クレジット推進事業費	111
清流保全推進事業費	113
四万十川総合対策事業費	114
希少動植物保護対策事業費	115
自然公園等施設整備事業費	117
自然公園等管理費	118
牧野植物園管理運営費	119
豊かな環境づくり総合支援事業費	120
公園施設等災害復旧事業費	122
自然保護基金管理費（特別会計）	123

事業名	平成24年度	平成24年度	平成25年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
環境共生保全費	5,519	5,896	5,534		(諸) 10	5,524

1 目的

自然環境保全の総合的な推進を図るために、環境審議会自然環境部会の開催、環境影響評価(アセスメント)の審議、国の環境影響評価法の一部改正を受けた県条例の改正の審議及び自然環境情報の発信等を行う。

2 内容

(1)環境審議会開催経費 (144千円 (一)144千円)

- ・高知県環境審議会自然環境部会の開催

(2)環境影響評価(アセスメント)技術審査会等開催経費 (531千円 (一)531千円)

- ・環境に著しい影響を及ぼす恐れのある開発事業の実施に先立ち、環境影響評価(アセスメント)の審査会を開催
- ・環境影響評価法の一部改正を受け、県条例の改正に向けて、高知県環境審議会を開催

(3)環境共生保全事務費 (4,859千円 (一)4,849千円 (諸)10千円)

- ・環境行政の円滑な推進を図るための各種連絡会議への出席や関係機関との連絡調整等の事務費

事業名	平成24年度	平成24年度	平成25年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
協働の森づくり事業費	3,928	3,941	4,590			4,590

1 目的

温室効果ガス削減に関心の高い企業を対象として、二酸化炭素吸収機能に着目した森づくりに協力してもらうため「環境先進企業との協働の森づくり事業」の企画立案と提案を行う。

また、森と密接な繋がりを持つ川・海の環境保全をテーマとし、新たな活動メニューを企画・提案することによる企業の環境・CSR活動の誘致及び企業等の持つ助成制度を県内のNPO等とマッチングさせることで、地域活動の活発化と環境の保全を図る。

2 内容

- (1)パンフレット作成委託料 735千円
- (2)職員研修等負担金 120千円
- (3)事務費（協働の森フォーラムの開催を含む。） 3,735千円

3 平成24年度に実施した主な事業の実績

(1)協働の森づくり事業

- ①協働の森パートナーズ協定締結……更新9件（協定企業55、協定のべ数57件）
- ②企業と地域との交流活動実施……46回 参加者数 約2,600名
- ③CO2吸収専門委員会……1回開催
- ④CO2吸収証書発行……30件・吸収量3,512t-CO2
- ⑤協働の森フォーラム……企業33・市町村等30

(2)協働の川、協働の海づくり事業

- ・協働の川パートナーズ協定に伴う寄付……11件

事業名	平成24年度	平成24年度	平成25年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
オフセット・クレジット推進事業費	47,425	42,872	26,504		(諸) 6,300	20,204

1 目的

豊かな森林資源を温暖化対策に活用するとともに、オフセット・クレジット等の創出を行い、雇用創出や森林整備につなげていく。

また、協働の森づくり事業の間伐整備により増大した森林吸収量を認証し、吸収証書を発行するほか、県産材を用いた木造住宅等のCO2固定量を認証し、木材利用が温暖化対策につながることを広くアピールすることで、県産材の利用を促進する。

2 内容

(1) 排出量取引（CO2排出削減）プロジェクト事業費（2,451千円（一）2,451千円）

未利用林地残材の混焼により削減されたCO2をJ-VERクレジットとして創出・販売し、得られた資金により森林整備の推進と雇用の拡大を図る。

(2) 排出量取引（CO2吸収）プログラム認証等事業費（14,978千円（一）14,978千円）

プログラム認証による県内森林吸収プロジェクトの県認証にかかる審査及び県オフセット・クレジット認証センターの運営全般を委託する。

委託先：（一社）高知県山林協会

(3) CO2木づかい運動推進事業費（476千円（一）476千円）

CO2木づかい固定量認証専門委員会を開催し、認証について審査を行い、県産材を用いた木造住宅や公共建築施設、木製品のCO2固定量を認証することで、木材利用が温暖化対策につながることを広くアピールし県産材の利用を促進する。

(4) J-VERクレジット販売促進等事業費（8,092千円（一）1,792千円（諸）6,300千円）

排出削減・森林吸収J-VERの販売促進を図るため、営業や情報収集の体制を強化するとともに、オフセットプロバイダー等にクレジットの販売を委託することで新たな販売方法を確立させる。

(5) 高知県J-VER制度サポート事業費（507千円（一）507千円）

高知県J-VER制度利用者への普及促進を図るため、説明会や研修会を開催するとともに、企業とのマッチングイベント等に参加し、発行クレジットの販売促進をサポートする。

3 平成24年度までに実施した主な事業の実績

(1) オフセット・クレジットの発行（平成25年3月31日現在）

- ・木質資源エネルギー活用事業 13,854 t-CO2
（うちH20は899 t-CO2、H21は1,932 t-CO2、H22は3,089 t-CO2、H23は2,534 t-CO2、H24は5,400 t-CO2）
- ・森林吸収量取引プロジェクト 285 t-CO2
（うちバッファ 8 t-CO2）

(2) 売却状況（平成25年3月31日現在）

- ・81件 売却済み 6,633 t-CO2
（うちH20は899t-CO2、H21は1,742t-CO2、H22は1,743t-CO2、H23は1,658t-CO2、H24は591 t-CO2）

(3) 高知県J-VERプロジェクト 登録・認証・発行状況（平成25年3月31日現在）

- ・11件登録、12件認証、8件発行

事業名	平成24年度	平成24年度	平成25年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
清流保全推進事業費	1,335	1,322	1,334		(入) 650	684

1 目的

本県の恵み豊かな清流を次世代へ引き継ぐため、清流保全基本方針に基づいて策定した清流保全計画をベースに、流域住民や団体等との協働のもと、健全な水循環の保全・再生を図る。

2 内容

(1) 物部川清流保全計画・第2次仁淀川清流保全計画の着実な推進

物部川清流保全計画及び第2次仁淀川清流保全計画の推進母体として設立した物部川清流保全推進協議会、仁淀川清流保全推進協議会を、流域住民や事業者、国や流域市町村などと協議しながら運営し、具体的な取組を進めていく。

(2) 清流保全計画の指標収集と環境学習への支援

清流保全計画に基づく取組の達成状況を把握する指標を収集するとともに、流域の小学生らが川に親しみながら、環境学習の一環として水生生物の調査などに取り組むことが出来るように支援する。

〔主要な節内訳〕

- ・清流保全条例推進事業費 (684千円 (一)684千円)
 - ①物部川清流保全推進協議会、仁淀川清流保全推進協議会委員報償費 405千円
 - ②事務費(旅費、使用料及び賃借料) 279千円
- ・清流保全計画指標モニタリング事業費 (650千円 (入)650千円)
 - ①事務費(需用費) 650千円

3 平成24年度に実施した主な事業の実績

(1) 物部川清流保全推進協議会の取組

- ・代掻き時期における濁水対策の啓発チラシの作製・配付
- ・一斉清掃の実施
- ・近自然工法勉強会の開催等

(2) 仁淀川清流保全推進協議会の取組

- ・仁淀川一斉清掃の実施
- ・仁淀川シンポジウムの開催

事業名	平成24年度	平成24年度	平成25年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
四万十川総合対策費	10,973	9,491	15,004		(入) 474	14,530

1 目的

四万十川の総合調整を推進するため、国や愛媛県、流域市町、関係団体及び住民団体などとの連携を図り、四万十川条例に基づいて、生態系や景観、生活文化財産の保全及び地域振興との調和を図るとともに、保全と振興の実践組織である四万十川財団の事業を支援する。

2 内容

- (1) 流域市町と連携した生活文化財産の保全・活用に向けての取組（重要文化的景観を活用した流域の振興）
- (2) 共生モデル地区における住民と行政との協働の取組（四万十くろそん会議 他）
- (3) 重点地域における許可制度の運用
- (4) 四万十川流域の中核的実践組織である四万十川財団の支援

〔主要な節内訳〕

- ・四万十川流域保全振興委員会費（504千円（一）504千円）
（委員報酬）
- ・重点地域等管理費（3,373千円（一）3,373千円）
 - ① 四万十川流域保全振興委員会運営委託料 555千円
契約方法：指名競争入札
委託先：コンサルタント等
 - ② 事務費 2,818千円
（報償費、旅費、需用費等）
- ・清流基準モニタリング事業費（旅費、需用費）（474千円（入）474千円）
- ・四万十川財団活動推進事業費（10,510千円（一）10,510千円）
（四万十川財団運営費補助金）
- ・その他事務費（報償費、旅費、需用費等）（143千円（一）143千円）

3 平成24年度に実施した主な事業の実績

- (1) 文化的景観連絡協議会、四万十川すみずみツーリズム連絡会との連携による流域の振興に係る取組
- (2) 四万十くろそん会議の運営としまんと黒尊むらとの共生モデル地区協定の再締結
- (3) 重点地域における許可制度の運用

事業名	平成24年度	平成24年度	平成25年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
希少動植物保護対策事業費	19,304	13,871	21,031	5,277	(入) 11,894	3,860

1 目的

県内に生息・生育する希少な野生動植物の保護を図ることにより、生物多様性の保全及び自然との共生に寄与し、健全な自然環境を将来の県民に継承する。

2 主な内容

(1) 保護対策事業費（789千円（一）789千円）

高知県希少野生動植物保護条例に基づき、県内に生息、生育する希少野生動植物の保護に関する検討、対策等及び高知県うみがめ保護条例に基づく保護区の管理等を行う。

また、外来生物法による特定外来生物の拡大防止のための対策を行う。

(2) 希少野生植物食害対策事業費（11,894千円（入）11,894千円）

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響を調査し、防護ネット設置及び既設ネットの箇所のモニタリング調査等の業務を委託する。

① 調査業務委託料（2,418千円（入）2,418千円）

内容：ニホンジカの食害による希少野生植物への影響調査、ヒアリング等を行い、専門的知見による防護柵設置計画を作成する。

委託先：（公財）高知県牧野記念財団

② 防護柵設置業務委託料（4,898千円（入）4,898千円）

内容：防護柵設置計画に基づいた防護柵設置業務を行う。

委託先：高知県森林組合連合会

③ モニタリング調査業務委託料（4,578千円（入）4,578千円）

内容：平成24年度までに設置した防護柵の効果を把握するための、モニタリングやヒアリングを実施する。

委託先：（株）西日本科学技術研究所

(3) 生物多様性地域戦略策定事業費（8,348千円（一）3,071千円（国）5,277千円）

生物多様性基本法に基づき、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な県の計画を策定することにより、地域の特性に応じた具体的施策を推進する。

3 平成24年度に実施した主な事業の実績

(1) うみがめ生育地等保護区の管理

看板の修繕

(2) 希少野生植物食害対策事業

県内の山間地域におけるニホンジカの食害から希少野生植物を保護するための調査等を行った。

- ・ 現地調査 10箇所
- ・ 柵設置 7箇所 延長650m
- ・ モニタリング調査 15箇所

(3) 生物多様性地域戦略策定への着手

地域戦略策定を検討するための組織「生物多様性こうち戦略（仮称）策定検討委員会」及び「生物多様性地域活動協議会」を設置し、戦略内容を検討した。

事業名	平成24年度	平成24年度	平成25年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等施設整備事業費	13,314	15,012	22,636	2,682		19,954

1 目的

自然公園を訪れる観光客の安全性を図るため、施設整備を行った箇所において、長年の使用等により老朽化したものや危険な箇所等を修繕する。

2 内容

- (1)施設改修工事等の実施（22,146千円（国）2,682千円（一）19,464千円）
 ・遊歩道等改修工事等
- (2)足摺岬展望台解体工事測量設計委託（347千円（一）347千円）
- (3)その他事務費（143千円（一）143千円）

3 平成24年度に実施した主な事業の実績

- (1)四国のみち（天狗高原へのみち）遊歩道改修工事の実施
- (2)室戸岬園地遊歩道改修工事の実施
- (3)四国のみち看板改修等工事の実施

事業名	平成24年度	平成24年度	平成25年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等管理費	13,608	13,879	14,315		(諸) 3,558	10,757

1 目的

自然公園法及び県立自然公園条例により指定された国定公園や県立自然公園などの保護管理を充実させるとともに、公園利用の適正化を図る。

2 内容

(1) 自然公園管理費 (243千円 (一)243千円)

- ・現地調査等に要する活動旅費等

(2) 県立こどもの森管理運営費 (8,421千円 (一)4,863千円 (諸)3,558千円)

①月見山こどもの森管理運営委託料 (7,260千円 (一)3,702千円 (諸)3,558千円)

内 容：県立月見山こどもの森施設の指定管理者による管理代行料

指 定期間：H24. 4. 1～H27. 3. 31 (3年間)

指定管理者：情報交流館ネットワーク

②耐震診断委託料 (764千円 (一)764千円)

南海地震対策のため、管理事務所の耐震診断を実施するための委託料

③その他事務費 (397千円 (一)397千円)

(3) 四国のみち管理費 (5,518千円 (一)5,518千円)

- ・四国のみち管理委託料 (5,518千円 (一)5,518千円)

内 容：昭和56年度から整備した長距離自然歩道(四国のみち)の維持管理に要する委託料

委 託 先：18市町村、高知市森林組合、野根山街道保存協議会

路 線 数：36ルート(延長411.3km)

(4) 自然公園指導員活動強化事業費 (133千円 (一)133千円)

- ・自然公園指導員の活動の安全性向上を図るための災害補償保険への加入等

3 平成24年度に実施した主な事業の実績

(1) 県立月見山こどもの森の管理運営委託

①年間利用者数 21,880人

②道の駅やすやごめんなはり線等の施設との連携を図る事業

③地元ボランティア団体等、地域組織の活性化を図る事業

(2) 四国のみち管理委託

①36ルート、411.3kmの草刈り等

事業名	平成24年度	平成24年度	平成25年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
牧野植物園管理運営費	346,124	344,877	350,405		(使) 185	350,220

1 目的

牧野富太郎博士の偉業を顕彰し、植物研究を通じて、教育文化の向上及び産業振興に寄与するとともに、県民に対し憩いの場を提供する。

2 内容

牧野植物園管理運営費 (350,405千円 (一)350,220千円 (使)185千円)

- ・ 牧野植物園の管理を指定管理者に行わせる。

- ①牧野植物園管理運営委託料 (管理代行料) (329,883千円 (一)329,698千円 (使)185千円)

指定期間：平成23年4月1日～平成28年3月31日 (5年間)

指定管理者：(公財)高知県牧野記念財団

- ②その他事務費 (20,522千円 (一)20,522千円)

3 平成24年度に実施した主な事業の実績

- ・ 牧野植物園入園者数 171,400人

- ・ 牧野富太郎生誕150年記念事業

特別展の開催 6/16～9/23(100日間) 29,344人

ホームページ制作等

事業名	平成24年度	平成24年度	平成25年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
豊かな環境づくり 総合支援事業費	6,156	6,156	6,129			6,129

1 目的

県内の市町村等（公益法人を含む）及びNPO等が、環境の保全と創造に関する地域の課題を解決するために実施する事業を総合的に支援する。

2 内容

豊かな環境づくり総合支援事業費（6,129千円（-）6,129千円）

「高知県環境基本計画第三次計画」（平成23年4月策定）において示す5つの対象分野（地球温暖化への対策、循環型社会への取組、自然環境を守る取組、環境ビジネスの振興、環境学習の推進とネットワークづくり）の県内で実施される事業であり、3つの社会づくり（低炭素社会づくり、循環型社会づくり、自然共生社会づくり）を目指す取組に対して補助金を交付する。

- 補助対象事業：地球温暖化防止県民会議推進事業
豊かな流域づくり活動支援事業
その他特に知事が必要と認める事業

○補助先：市町村等及びNPO等

- 補助率：市町村等…1/2以内（1件当たりの補助金の範囲が100千円以上、1,500千円以下）
NPO等…定額（1件当たりの補助金の範囲が500千円以下）

3 事業内訳

豊かな環境づくり総合支援事業費補助金 6,000千円
事務費 129千円

4 平成24年度に実施した主な事業の実績

○事業件数：8件

（市町村等）

- ・香南市（54千円：香南市地球温暖化対策実行計画推進事業）
CO2CO2電気削減コンテスト及びエコドライブ促進事業
- ・安田町（2,238千円：安田川自然再生事業）
近自然工法による水制工の設置による河川（淵、瀬）の変化と魚類調査及び啓発、環境学習
- ・いの町（844千円：平成24年度奥田川親水公園整備事業）
仁淀川支流の奥田川において河川環境教育学習を図るため、観測広場、多目的広場等の整備や植栽、遊具等の設置

(NPO等)

- ・特定非営利活動法人四国自然史科学研究センター(500千円:シンポジウム「四国の自然はいま2012」)
四国の生物について過去10年の間に四国内外の研究者によって解明された最新の知見を広く県民に対し提供
- ・暮らしを見つめる会(500千円:住まいと住まい方 省エネの暮らし提案事業)
夏の省エネ化の対策や暮らし方が与える影響を調査し、結果を分かりやすく「見える化」することで県民の省エネ対策を促進
- ・高知県電機商業組合(500千円:太陽光発電普及啓発事業(ハッピーソーラーユーザー「喜びの声」キャンペーン)
太陽光発電を導入したユーザーに対し、「良かった」という声をコンテスト形式で公募、県民に訴求告知
- ・特定非営利活動法人環境の杜こうち(500千円:鏡川自然塾運営事業)
鏡川とその流域の現状を科学的に把握するとともに、環境(自然)学習活動を通じて自然の仕組みを科学的に理解し、調査し、記録する市民を育てる「鏡川自然塾」を運営する
- ・地域の環境を守るECOクラブ(300千円:第2回宇治川の水質浄化とヘドロ除去に伴うEM泥だんご投入事業)
仁淀川支流宇治川で、河川の水質浄化とヘドロ除去を目的にEM泥だんごを投入

事業名	平成24年度	平成24年度	平成25年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
公園施設等災害復旧事業費	5,000	5,000	5,000		(債) 5,000	

1 目的及び内容

自然公園区域内の施設が降雨、暴風、洪水、津波その他異常な自然現象によって被災または破損した場合に、当該施設を原型に復旧する。

2 平成24年度に実施した主な事業の実績

対象となった災害なし

事業名	平成24年度	平成24年度	平成25年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然保護基金管理費 (特別会計)	1,124	1,124	1,048		(使) 29 (財) 272 (越) 747	

1 目的

高知県自然保護基金条例及び高知県自然保護基金管理規則に基づき、県内の自然環境に優れた土地を取得し、自然保護を推進する。

2 内容

県が取得した土地の維持管理を行う。

3 平成24年度に実施した主な事業の実績

県有地内において管理の支障となっている草刈りを実施